

おうちキャンプ



ホームガス課 森田 敏弘

ようやくアウトドアに最適な季節がやってきました。

本格的なオートキャンプ場は3密を避けてレジャーが楽しめる場所として近年特に人気がありますが、逆に混雑する可能性があったり、またキャンプ場への移動中にスーパーやコンビニ、日帰り温泉などの様々な場所に立ち寄ることで自分が感染する危険、または他人に感染させてしまう危険があるため、屋外レジャーといえども今の時期に遠くのキャンプ場へ行くのはちょっと…

**キャンプロスによるストレスはたまる一方!!
ってということで、今年のGWも「おうちキャンプ」!!**

家にいながら、手軽にキャンプ気分を味わえるので、面倒くさがり屋の私でも充実した時間を過ごすことができるので大変気に入っております。キャンプ場が庭なのでチェックイン、チェックアウトも気にせずキャンプ道具の運搬も不要、後片付けも好きな時にでき電源も確保できるので最高!! しかもトイレにお風呂付♪…

猫の額ほどしかない庭に子供と一緒にテントやタープを張ることで、キャンプ場に最も近い形で楽しむことができますし、キャンプの楽しみでもあるキャンプ飯も、庭でアウトドア料理器具を使ってホットサンドやメスティン料理、スキレットなどで子供達とご飯を作るのも楽しみの一つです。

夜はテントの中で子供達とヒソヒソ話をする。それだけで子供にとっては特別な体験になっていると思っています。

**しかし、キャンプ場と同じ感覚ではさすがにダメなので
おうちキャンプを楽しむための注意点として、**

① 住宅密集地で行うおうちキャンプでは焚き火はNG!

アウトドアの醍醐味といえば、焚き火!! 炎をポーッと眺めているだけでも癒されます。といっても薪を燃やすことはできません。ですので炭などを燃やし煙の心配をせず真っ赤な炎が上がる様子を楽しむ。

② 音のボリュームに配慮!

楽しくはしゃぐ声やBGMなども立場が変わればただの騒音ですので、音のボリュームには最新の注意を払って楽しむ。

③ 時間帯にも十分配慮!

いくらボリュームに注意しても、深夜遅くまで続けると周囲には迷惑でしかありません。また住宅密集地の庭先では、ランタンの照明が眩しくて近隣の人が寝られないということもありますので22時には消灯を心掛ける。

**この3つの注意点を守って
このGWは楽しいおうちキャンプをしたいと思います。**

